

フィルターレギュレーター

品番 TAFR403シリーズ

この度は、**TRUSCO** フィルターレギュレーターをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。またお読みになった後は必ず大切に保存してください。

●安全に使うための表示

使用、保守、点検、分解の前に必ずこの取扱説明書を読み、次の表示の意味をよくご理解の上、使用してください。

表示 表示の意味

危険 取扱いを誤った場合、使用者が死亡、重傷又は、健康上、重大な危害を被る可能性が極めて高いことを示します。

警告 取扱いを誤った場合、使用者が死亡、重傷又は、健康上、重大な危害を被る可能性があることを示します。

注意 取扱いを誤った場合、使用者が重傷を負うか、健康を害するか又は、物的損害が生じる可能性があることを示します。

●形式

TAFR403 - **15** - A

管接続口径	
8	: Rc 1/4
10	: Rc 3/8
15	: Rc 1/2

●仕様

管接続口径	8	Rc 1/4
	10	Rc 3/8
	15	Rc 1/2
使用流体	空気	
使用圧力	0.05~1.0 MPa	
耐圧力	1.5 MPa	
設定圧力	0.1~0.85 MPa	
周囲温度	5~60℃	
ろ過度	5µm	
質量	620g	
付属品	圧力計、ブラケット (各1個)	

●使用上の注意事項

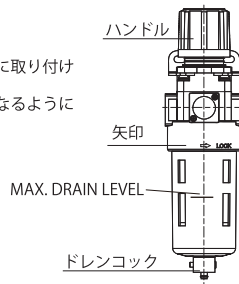
警告

- 使用圧力は、1.0MPa以下で使用してください。
- 使用温度は、5~60℃の範囲を守ってください。
- 取付場所は、直射日光や有機溶剤の雰囲気での使用は避けてください。
- 分解点検は、機器と配管内の圧力を抜いてから行ってください。
- 部品洗浄は、中性洗剤を使用してください。
- 部品を取り外して他の機器に使用したり、指定以外の部品を使用したりしないでください。
- 人体に直接吸引する呼吸器系の装置には、使用しないでください。

●取付

注意

- 取付方向は、ボディ正面の矢印の方向に空気が流れるように取り付けてください。
- 取付姿勢は、地面と垂直方向とし、ドレンコック部が下になるように取り付けてください。
- 保守点検のため周囲には余裕空間を設けてください。



●配管

注意

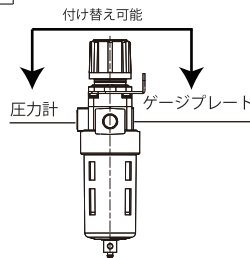
- 配管する前に、配管内を十分フラッシングして配管内のゴミ等を除去してください。
- 配管時には、ねじ部にシールテープ、もしくはシール剤を塗ってください。
- 配管、継手をねじ込む場合は、切粉やシール剤が内部に混入しないようにしてください。また、締め付けトルクは下記の表の範囲内としてください。

配管サイズ	締め付けトルク (N・m)
Rc1/4	12~14
Rc3/8	22~24
Rc1/2	28~30

●圧力計取付

注意

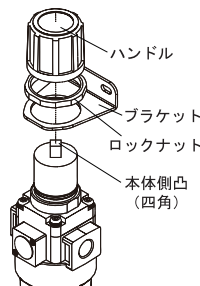
圧力計の取り付け位置は、反対側に変更することができます。その場合は、圧力計、および、反対側のゲージプレートのビスを緩めて取り外し、交換して取り付けください。作業の際には、必ず機器と配管内の圧力を抜いてから行ってください。



●ブラケット取付

注意

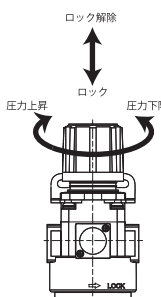
ブラケット取付作業の前に必ず機器と配管内の圧力を抜いてから行ってください。また、ハンドルは止まる位置まで左に回した後、上に引っ張り取り外してください。その後ロックナットを左に回し取り外し、ブラケットを挟み込んでから、再度ロックナットを右に回し締結してください。締結後ハンドルを差し込んでください。ハンドルを差し込む際は、ハンドルの凹(四角)と本体側の凸(四角)の位置を合わせてから差し込んでください。位置を合わせず差し込むと破損する可能性があります。



●圧力調整

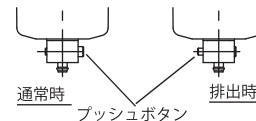
注意

- 圧力設定
ハンドル位置をロック状態からロックを解除してから設定してください。
ロック解除するためには、ハンドルを引上げてください。
- 2次圧力を上げる
ロック解除したハンドルを、右回転すれば圧力が上がります。圧力計を見ながら設定したい圧力付近までハンドルを右回転し、流量が落ち着いてから微調整を行ってください。設定圧力になればハンドル位置をロック状態にしてください。
ロック状態にするためには、ハンドルを押し下げてください。
- 2次圧力を下げる
ロック解除したハンドルを、左回転すれば圧力が下がります。圧力計を見ながら設定したい圧力付近までハンドルを左回転し、一旦、設定したい圧力より下げてから右回転して微調整してください。
設定圧力になればハンドル位置をロック状態にしてください。



●ドレン排出

ケース内に溜まったドレンは、「MAX. DRAIN LEVEL」位置に達するまでに、ドレンバルブを操作して排出してください。「MAX. DRAIN LEVEL」以上にドレンが溜まると出口側にドレンが流出し、他の機器の作動不良の原因となります。ドレン排出操作は、ドレンバルブのプッシュボタンの太い方を押します。ドレン排出後はプッシュボタンの細い方を押し、元の位置に復帰させてください。また、配管内の空気圧が0.05MPa以下になると、ドレンバルブが開き排出される機構となっています。



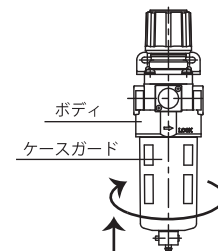
●保守点検時の注意

警告

分解点検は、機器と配管内の圧力を抜いてから行ってください。ケース組立時は止まるまで右方向に回転してください。途中で止めたままにしておくと、ケースが外れて危険です。

注意

- ドレンを定期的に排出させてください。
- ケース内に溜まったゴミは取り除いてください。
- 定期的に、圧力調整機能が働くことを確認してください。
- 圧力計の指示圧力の確認をしてください。



●ケースの分解方法

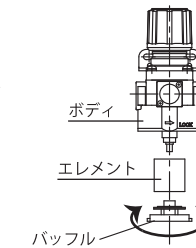
注意

ケースガードを押し上げ(ボディ側に引き寄せ)ながら左に回し、下に引くとケースとケースガードが共に外れます。

●エレメントの取り外しと保守

注意

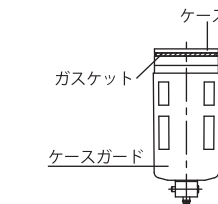
バルブを左に回すとエレメントを取り外せます。エレメントは内側からフラッシングを行い、外周面に付着したゴミを取り除いてください。



●ケースの装着方法

注意

ガスケットがケースに装着してあることを確認し、ケース外周とボディ内周の凹凸を組み合わせ、ケースガードを押し上げながら右に回してください。



●トラブルの原因と対策

トラブル内容	原因	対策
圧力降下の増大	エレメントの目詰まり	エレメントの洗浄、または交換
出口側からドレンが流出	ドレンのオーバーフロー	ドレンの排出
出口側から異物が流出	エレメントの破損	エレメントの交換
2次圧力の上昇	製品内部シート部への異物噛み込み	内部シート部の清掃、異物除去
ハンドル部隙間漏れ		